

じゅしゅう

永代経法要 厳修

十月十五日、昼は「永代経開闢法要」、夜は「総永代経法要」をおつとめさせていただきました。開闢法要とは、その年に永代経懇志を納めてくださった方々に対し、お礼とご披露のおつとめをさせていただくものです。

ご法話のご講師は枚方市より義本弘導先生です。義本先生とは住職が小学生の頃よりのお付き合いです。お寺の子供たちが集まり、遊びながら仏教を学ぶ。そんな機会を先生は企画し樂ませてくださいました。また、大人になってから本願寺派布教という資格を目指して布教の勉強をして

いたときには、幾度となく先生のご自坊に通い、手解きを受けさせていただきました。数え切れないほどのお育てをいただいた先生なのです。三年前に約束をさせていただいて、ようやくご来山が叶いました。

昼座のご讃題は「前に生まれんものは後を導き、後に生まれんとは前を訪へ」、夜座は偈前の文(親鸞聖人が正信偈の手前に書かれた文章)をお示しくくださいました。

先生は永代経のおつとめをする意味というものが、世間で思われていることと、浄土真宗で伝えられていることとは少し違うように感じています。

じていますとのこと。年忌の当たり年などを縁としてまとまった金額のご懇志を納めてくださいます。けれど世間では、今後はお寺でおつとめをしてもらうための懇志なので、私はもう関わりませんといった思いが隠れているのではないのでしょうか。永代供養という言葉もそれに伴って使われるものでしょう。私たちの浄土真宗では、これで終わりとすることはありません。永代経法要とは今まで伝わってきたお念仏の教えに私が出遇わせていただくための仏縁であり、今後もこのお念仏の教えを伝え残していくために、寺基を維持護持しながらご法座をつとめ続けていくための懇志と受け取らせていただくのです、と教えていただきました。

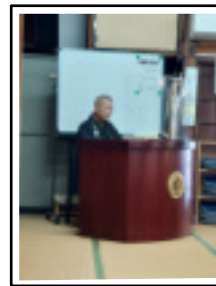
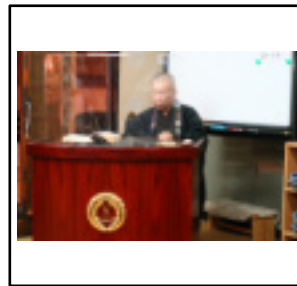
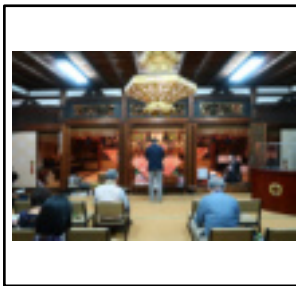
第43号
(通算383号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

- ・11月16日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットの無料レンタルもありますので、初めての方でもお気軽にご参加ください。



しかれば

大聖の真言に帰し

大祖の解釈に関して

仏恩の深遠なるを信知して

正信念仏偈を作りていはく

無量寿如来に帰命し

不可思議光に南無したる

親鸞聖人「偈剪文」



御文章に聞く(第38回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

末代無智章(五帖第一通)
 末代無智の・在家止住の男女たらんともがらは、こころをひとつにして・阿弥陀仏をふかたのまにまいらせて、さらに余のかたへこころをふらず・一心一向に仏たすけたまえと申さん衆生をば、たとい罪業は深重なりとも・かならず弥陀如来はすくいませすべし、これすなわち・第十八の・念仏往生の誓願のこころなり、かくのごとく決定してのうえには・ねてもさめてもいのちのあらんかぎりは、称名念仏すべきものなり、あなかしこ あなかしこ

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。先月号で文頭の「末代」についてお

有頂天

迷いの世界のてっぺんのことをいう。仏教には人間道や餓鬼道などを迷いの世界が六つあり、それを六道というが、「天道」も仏教では迷いの世界としている。道を極めた、自分はずいと思っている人でも、見渡してみるとそこは有頂天にいただけかもしれないよ。

『気になる仏教語辞典』
 著・麻田弘潤 誠文堂新光社
 仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

話させていただきました。続いて今月は「無智」について深めてまいりましょう。同じ読み方で学識や能力がないという意味の「無知」がありますが、ここでは「無智」とあります。生と死を正しく見通す、人生の確かな依りどころを持たない人のことなのです。逆に言うと阿弥陀さまの智慧というものは私のいのちのあり方を正しく見せ、これからの生活において確かな依りどころ、つまり間違いない価値基準を与えてくれるというはたらきなのです。蓮如上人は『御文章』全体を通して、人びとに「いのち」の目標を伝えてゆこうとされたのです。

※先月まで「末代無智」を交換ミスにより「無知」と表記してしまいました。お詫びして訂正いたします。

編集後記

今月も「じゅごう」をお届け致します。永代経法要を無事におつとめさせて頂き嬉しく思っております。年内の行事はまだ残っておりますが、一年間計画していた法要はこれで終わりました。できないことを悔やむのではなく、できることを精一杯取り組んでおります。法要のご法話を収録し、YouTube「浄覚寺チャンネル」に載せております。右下のQRコードからご覧いただけますのでお聴聞ください。別紙でご案内の通り、住職が携わっております雅楽の演奏会が十一月二十八日に開催されます。主管として演奏したり、「狛杵」の舞人として出演をいたします。招待券をご希望の枚数差し上げますので、お寺までご連絡ください。(釋法道)

行事案内

お配りしている年間法要行事表には十一月の予定として津村別院と願証寺さまへの報恩講参拝を記載しておりました。しかしながら、コロナ禍の影響により、両寺院ともに規模を縮小して勤めるとのご連絡がありました。当山より参拝させていただく場合、電車やタクシーを利用するため、団体参拝としてのご案内は中止とさせていただきます。ご了承下さい。

(11月15日・27日のお参りは通常通りお伺い致します)



12月18日(日) 13時〜16時
 浄覚寺ごとも会冬のごつと